

2024.5.9

堂込まきこ組織内参議院議員、財政金融委員会で質疑！

円安が実質賃金に及ぼす影響について、 質疑を行いました！



堂込まきこ議員、植田日銀総裁(右)

<https://youtu.be/ca1ebLazxnM>

発言抜粋

「円安が実質賃金に及ぼす影響について」



堂込まきこ

- ・更なる円安の進展による輸入物価上昇が実質賃金にマイナスの影響を与える可能性が指摘されています。
- ・円安が経済に与える影響について、日銀が説明を尽くす必要があると思いますが、日銀総裁の見解をお伺いします。

植田日銀総裁

- ・一般論として、為替レートの変動が経済に及ぼす影響については、業種あるいは個別の企業、あるいは企業が消費者により様々でございます。

-
- ・円安は、インバウンド関連を含む輸出企業にはプラスになる一方で、輸入価格の上昇を通じて人々の実質所得を引き下げる影響が出たりします。
 - ・更に、急速かつ一方的な円安の進行は、企業の事業計画策定を困難にするなど先行きに関する不確実性を高めて、我が国経済にとって、マイナスであり望ましくない面があることは認識しています。
 - ・私どもは為替レートを直接コントロールすることは考えておりませんが、為替は経済・物価の動向に影響を及ぼす重要な要因の一つでありますので、基調的な物価上昇率について、為替変動が影響する、あるいは、そういうリスクが高まる場合には金融政策上の対応が必要になると考えております。
 - ・そういう意味で、最近の円安の動きは十分注視してまいります。